

# 令和3年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

## I 総務課

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるための支援とし、地域福祉活動では地域住民が相互に支え合える地域づくりのため、ふれあい地区社協活動を中心とした見守り活動や公民館活動への支援を、新型コロナウイルス感染症予防を図りながら実施しました。

また、様々な問題が複合して起こる生活上の問題に対応するため、関係機関と連携を図り引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮世帯、新型コロナウイルス感染症の影響などで日常生活に不安を抱えている方などへ、寄り添いながら支援を行いました。

### 1 理事会、評議員会の開催

#### (1) 理事会

回数	日時	提出議案
第1回	5月27日(木) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度資金収支予算の流用について</li> <li>令和2年度事業報告の承認について</li> <li>令和2年度収支決算の承認について</li> <li>理事及び監事の候補者の選任について</li> <li>評議員候補者の選任について</li> <li>評議員選任解任委員候補者の選任について</li> <li>令和3年度定時評議員会の招集について</li> <li>令和2年度日赤募金会計決算について</li> </ul>
第2回	6月11日(金) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長及び副会長の選任について</li> </ul>
第3回	7月19日(月) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉充実計画の終了承認申請について</li> </ul>
第4回	9月22日(水) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度資金収支計算書、第1次補正予算について</li> </ul>
第5回	10月29日(金) 決議の省略の方法により行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員候補者の選任について</li> </ul>
第6回	3月17日(木) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤役員等の報酬及び旅費に関する規程の一部改正について</li> <li>令和4年度事業計画(案)について</li> <li>令和4年度資金収支予算書(案)について</li> <li>令和3年度第4回評議委員会の招集について</li> <li>令和4年度日赤募金会計予算(案)について</li> <li>令和3年度資金収支予算の流用について</li> <li>嘱託職員、日給職員、時給職員就業規則及び嘱託職員給与等に関する規程の一部改正について</li> </ul>

#### (2) 評議員会

回数	日時	提出議案
第1回 定時	6月11日(金) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告及び収支決算の承認について</li> <li>理事及び監事の選任について</li> </ul>

第2回	7月30日(金) 決議の省略の方法により行う	・社会福祉充実計画の終了承認申請について
第3回	10月8日(金) 決議の省略の方法により行う	・令和3年度資金収支計算書、第1次補正予算について
第4回	3月28日(月) 午前10時～	・非常勤役員等の報酬及び旅費に関する規程の一部改正について ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度資金収支予算(案)について

(3) 監査

回数	日 時	内 容
第1回	5月17日(月) 午後1時～	・令和2年度決算に係る監査

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

ふれあい地区社協の活動に対し支援を行いながら、住民主体にて地域課題が解決できるよう地域福祉活動の推進に努めました。

また、見守り活動を実施している関係団体と地域の現状や見守りが必要な方の状況など情報の共有を図り、地域の現状を把握するため見守り会議を開催しました。

(1) ふれあい地区社会福祉協議会

ア 役員会・代表者会議

区 分	日 時	場 所
第1回役員会	5月21日(金) 午前10時30分～11時30分	ふれあいセンター
第2回役員会	8月4日(水) 午前9時30分～10時30分	
第3回役員会	9月22日(水) 午前10時～11時	
第4回役員会	12月16日(木) 午前10時～11時	
第5回役員会	3月23日(水) 午後1時30分～2時30分	
第1回代表者会 (腹栄中校区)	4月5日(月) 午前10時00分～11時	ふれあいセンター
第1回代表者会 (長洲中校区)	4月5日(月) 午後1時30分～2時30分	
第2回代表者会 (長洲中校区)	10月18日(月) 午前10時00分～11時	ふれあいセンター
第2回代表者会 (腹栄中校区)	10月18日(月) 午後1時30分～2時30分	

イ ふれあい地区社協校区别研修会(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

ウ ふれあい地区社協合同研修会

- ・日 時 11月20日(土) 13時30分～16時
- ・場 所 ながす未来館
- ・参加人数 99人
- ・内 容 (1)講演会

演 題:「長洲町の食事と口の健康について」

講 師：長洲町保健センター 柿沼 氏、廣岡 氏

(2) 校區別活動報告

発表者：樋口 エミ子 氏 (出町区長)

緒方 映子 氏 (向野区長)

(3) 休 憩

(4) ICT の説明

演 題：「長洲町の今後の取り組みについて」

講 師：まちづくり課 ICT 推進室 坂田 氏

(5) 抽選会

エ 見守り会議の開催(13 地区 13 回開催)

期 日	行政区	参加者数	場 所
6 月 1 日(火)	高田	5 人	高田公民館
6 月 3 日(木)	腹赤新町	5 人	腹赤新町公民館
6 月 15 日(火)	下本	4 人	下本公民館
6 月 18 日(金)	中町	5 人	中町公民館
6 月 24 日(木)	宝町	5 人	町役場
6 月 28 日(月)	永方	16 人	永方公民館
6 月 28 日(月)	磯町	8 人	磯町公民館
7 月 16 日(金)	葛輪	4 人	葛輪公民館
7 月 20 日(火)	建浜	10 人	建浜公民館
7 月 26 日(月)	赤田	7 人	赤田公民館
10 月 23 日(土)	折地	11 人	折地公民館
12 月 20 日(月)	松原	8 人	松原公民館
1 月 24 日(月)	宮崎	9 人	宮崎公民館
合 計		97 人	

前年度：19 地区 21 回開催 (合計 206 人)

(2) ボランティアセンター事業の推進

ア ボランティア活動育成事業

(ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校 4 校 中学校 2 校

(イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3 団体

(ウ) クリーンウォークの実施 (共催：町手をつなぐ育成会、町役場)

・日 時 11 月 3 日 (水) 9 時～10 時 30 分

・実 所 中道児童公園周辺、ひまわりの里周辺

金魚と鯉の郷周辺、町浄化センター周辺

・参加人数 230 人 (中道児童公園：113 人、ひまわりの里：56 人  
金魚と鯉の郷：21 人、町浄化センター：40 人)

(エ) メークアップボランティア活動

(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

イ 総合学習

ボランティア協力校からの依頼に対し、福祉を身近に感じる体験学習を行うため、社協職員の指導による車いす体験を行い、福祉教育の推進を図りました。

新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者疑似体験は中止し、車いす体験のみを実施しました。

また、清里小学校では体験学習の内容を深めることを目的に、町社協の取り組みの紹介を行いました。

他の小学校においても、今後は担任の先生と調整し、取り組んでいきます。

期 日	内 容	学校名	参加者数
6月25日(金)	車いす体験	長洲小学校	35人
7月2日(金)	車いす体験	腹赤小学校	23人
7月6日(火)	車いす体験	六栄小学校	21人
7月8日(木)	車いす体験	六栄小学校	20人
12月8日(水)	町社協の紹介	清里小学校	18人
12月9日(木)	車いす体験	清里小学校	18人

### (3) 児童・青少年福祉活動

#### ア 新小学一年生への援助

入学児童 141 人分の入学祝として (2B えんぴつ) を贈呈しました。

#### イ 子どもデイサービス事業(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

### (4) 各団体への支援活動

期 日	内 容	支援団体	場 所
※新型コロナウイルス感染対策のため中止	熊本県障がい者スポーツ大会協力支援	身体障がい者福祉協議会	熊本県民総合運動公園
※新型コロナウイルス感染対策のため中止	夏祭り出店協力及び職員派遣等支援	ひまわりの里	腹赤小学校グラウンド
※新型コロナウイルス感染対策のため中止	熊本県障がい者グラウンドゴルフ大会協力支援	身体障がい者福祉協議会	熊本県民総合運動公園
※新型コロナウイルス感染対策のため中止	春祭り出店協力及び職員派遣等支援	スローすてっぷ	スローすてっぷ

## 2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

### (1) 心配ごと相談所

毎月第3火曜日に弁護士による相談所を開設しました。(単位：件)

相談内容	生計	職業・生業	住宅	家族	離婚	人権・法律	医療	財産	事故	その他	合計
件数	1	1	2	9	1	1	1	7	2	12	37

※ 前年度相談件数 29 件

### (2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の安定や自立支援に向け対応しました。

ア 生活福祉資金貸付事業

(単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	対象外・ 相談のみ
福祉資金貸付	3	0	0	3
教育支援資金貸付	0	0	0	0
総合支援資金貸付	0	0	0	0
緊急小口資金貸付	0	0	0	0
不動産担保資金	0	0	0	0
緊急小口資金特例貸付	68	47		21
総合支援資金特例貸付	55	33		22
総合支援資金特例貸付（延長）	3	3		0
総合支援資金特例貸付（再貸付）	66	19		47
計	195	102		93

※ 前年度相談件数 187 件(内：申請件数 134 件・対象外相談のみ 53 件)

イ 福祉金庫貸付事業

(単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	不承認 件数	取下げ 件数	対象外・ 他制度等
福祉金庫貸付	1	1	1	0	0	0
前年度	7	3	3	0	0	4

3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減に努めました。(単位：人)

実利用者数	年度当初 利用者数	新規契約	契約 解除	支援 員数	対応回数(回) (支援員・職員対応)
13	13	2	2	5	976

※ 実利用者数内 認知症 10 人 知的障害者 2 人 その他 1 人

※ 前年度実利用者数 13 人、対応回数 1020 回

4 安心よりそい生活支援事業

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして安心よりそい生活支援として実施しております。(単位：人)

	実利用者数	年度当初 利用者数	新規契約者	契約解除者	対応回数(回) (職員対応)
本年度	7	6	5	4	709
前年度	4	8	0	4	598

5 赤十字講習会

(1) 地域の講習会開催

熊本地震の経験、繰り返される風水害など防災・減災への意識の高まりから、いざという時に役立つ知識や技術を身につけることを目的に開催しました。

期 日	行政区	内 容	参加者数	場 所
5月19日(水)	磯町	認知症の理解と予防・認知症の人への基本的な対応の仕方等	9人	磯町公民館
6月20日(日)	古城	子どもの心肺蘇生法とAEDの使い方	30人	古城公民館
6月22日(火)	折地	高齢者に多い事故と病気の予防と手当	24人	折地公民館
7月17日(土)	東荒神	避難所生活での過ごし方やボランティアの心得等	18人	東荒神公民館
10月24日(日)	宝町	高齢者に多い事故と病気の予防と手当	7人	みんなの蔵
12月12日(日)	建浜	高齢者に多い事故と病気の予防と手当	67人	清里小体育館

## 6 受託事業

### (1) 安心生活基盤構築事業

日常生活を送る上での困りごとの解消を図るため、地域住民相互の支え合い活動の一つとして有償ボランティア「ささえあい」事業を展開しました。

ア 有償ボランティア利用実績報告

(単位：件)

利用内容	利用件数	前年度	利用内容	利用件数	前年度	合 計
掃除・片付け	17	14	買物	45	72	917
洗濯	29	12	薬の受取	14	27	
ゴミ出し	812	940				

※ 協力会員活動実人数 26人

利用会員利用実人数 32人

イ 令和3年度新規登録者数

協力会員数

5人

利用会員数

14人

辞退

0人

辞退

5人

累 計

協力会員

118人

利用会員数

70人

### (2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し、生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを目的に包括的な支援に取り組みました。

(単位：人)

	前年度からの 継続	新規相談 件数	継続支援中 (就労支援等)	終結・終了
本年度	22	28	24	26
前年度	22	38	23	37

### (3) 緊急対応生活支援事業

緊急的かつ一時的に食材や日用品等の生活に必要なものが確保できなくなり、生命が脅かされる恐れとなった場合、現物を支給し他の制度につなぎ生活再建の支援を行ないました。

(単位：人)

支援内容 支援件数 (件)	支援人数	食材費	備蓄食材配布	水道光熱費	宿泊費
	17	27	2	0	0
前年度	8	5	11	3	1

## 7 子育て支援・児童健全育成事業の推進

## (1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や、同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流をできるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生会」その他を開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、「にこにこ通信」の発行や、「愛情ねっと」「母子モ」の配信を行い、多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策としては、手指の消毒・検温の確認、制作や食事の際は1組で1台のテーブルを使用してもらいました。

遊具・玩具・床・ドアノブ等を使用後は次亜塩素酸での拭き取り消毒を行いました。

開館日数	利用者延人数	一日平均利用者
275日間	幼児 1,842人、 大人 1,548人	幼児 6.7人 大人 5.6人

※新型コロナウイルスの影響での休館期間 4月27日(火)～6月13日(日)

※開館後 6月末まで行事は中止

※新型コロナウイルスの影響で町内のみ利用期間 8月3日(火)～9月30日(木)  
1月21日(金)～3月21日(火)

## ア 各種行事 (開催場所：子育て支援センター)

期 日	行事内容及び参加者数
毎月 第1木曜日 (変更有)	<p>◆にこにこサロン (募集定員：5～10組) 4月：リトミック</p> <p>※ 5月・6月は中止</p> <p>7月：手形・足形アート教室      8月：お話会 9月：ミニ運動会                      10月：歯みがき上手かな 11月：子育て講演会                  12月：クリスマス会 1月：幼児安全法                      2月：豆まき 3月：ひなまつり (親子で楽しむおはなし会)</p> <p>令和3年度延べ参加者数：大人 70人、 幼児 76人 令和2年度延べ参加人数：大人 62人、 幼児 63人</p>
4月21日(水) 10月21日(木)	<p>◆はいはい・よちよち大会 (年2回) 大人 10人 幼児 11人 大人 18人 幼児 19人</p> <p>令和3年度： 大人 28人、幼児 29人 令和2年度： 大人 14人、幼児 15人</p>
3月21日(月祝) 中止	<p>◆人形劇鑑賞会 (年1回)</p> <p>※世代間交流事業 (児童館と合同)</p>

※令和2年度中止	演題「オオカミと7匹の子ヤギ」 人形芝居劇団かすぺる	
12月4日(土)	◆コンサート(年1回) ※世代間交流事業(児童館と合同) ※令和2年度中止	
7月8日(木) 9月9日(木) 12月9日(木) 3月10日(木)	◆ベビーマッサージ(年4回) 大人 6人、 幼児 7人 大人 6人、 幼児 5人 大人 6人、 幼児 6人 大人 5人、 幼児 6人 令和3年度 参加者合計 47人 令和2年度 参加者合計 20人	講師： 藤本 喜美 氏
7月21日(水) 8月20日(金) 11月19日(金) 2月18日(金)	◆ボディケア(年4回) 大人 7人、 幼児 8人 大人 4人、 幼児 4人 大人 5人、 幼児 5人 大人 9人、 幼児 10人 令和3年度 参加者合計 52人 令和2年度 参加者合計 47人	講師： 竹下 貴美 氏
4月12日(月) 7月30日(金) 10月29日(金) 1月31日(月)	◆バランスボール教室(年2回) 大人 6人、 幼児 6人 大人 3人、 幼児 4人 大人 5人、 幼児 5人 大人 5人、 幼児 6人 令和3年度 参加者合計 40人 令和2年度 参加者合計 20人	講師： 山下 いずみ 氏
毎月(年12回)	◆1歳の誕生会 ※5月・6月は中止 ※休館中の対象者には後日開館中に来館してもらい記念写真・手形スタンプを実施する。 参加者数：大人 65人、幼児 71人、 うち対象者(町内の1歳を迎える幼児とその保護者) 令和3年度参加者数 101組中 参加組数 31組 カードのみ 3組 令和2年度参加者数 95組中 参加者数 17組 カードのみ 3組	
毎週火曜日	◆ごきげんタイム ※5月・6月は中止 内容：今月のうた・手遊び・ふれあい遊びうた・折り紙・シール遊び・お話会・制作 等 参加者 大人 188人 幼児 215人 令和2年度参加者 大人 189人 幼児 193人	
毎月第一水曜日	◆レッツプレイ・イングリッシュ ※5月・6月は中止 参加者 大人 47人 幼児 58人 令和2年度参加者 大人 15人 幼児 17人	
6月21日(月) ～25日(金)	◆おゆずり会 ・密を避けて、期間を5日間にして場所を2階会議室で行う。	

11月22日(月) ～26日(金)	6月 中止 3月 参加者 大人62人 幼児 49人 令和3年度参加者合計：111人 令和2年度参加者合計：135人
随 時	◆地域支援活動 町保健センターで行われる乳幼児健診支援「2か月広場」に出向いて、子育て支援センターの周知活動を行う。

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てできるように」に援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、いつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、健康の増進や情操を豊かにするような事業を計画をして、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、手指の消毒・検温・各テーブルに飛沫防止用のアクリル板を設置をし、利用者の使用後は次亜塩素酸での拭き取り消毒を行いました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館期間 4月24日(土)～6月13日(日)

・開館後 6月末まで行事は中止

※新型コロナウイルスの影響で町内のみ利用期間 8月3日(火)～9月30日(木)

1月21日(金)～3月21日(日)

期 日	行事内容及び参加者数
7月31日(土)	◆児童館クラブ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会員募集はおこなわず、単発で参加者を募集して実施 ・パステルアート教室 参加者 8人 講 師 田成 香代 氏
10月9日(土)	・動く環境教室、リ・グラスアート作り 参加者 13人 講 師 熊本環境センター
10月30日(土)	・手形アート教室 参加者 8人 講 師 田成 香代 氏
12月4日(土)	・リース作り 参加者 16人 講 師 豊野少年自然の家 出前講座
2月26日(土)	・防災教室・パッククッキング教室(中止) 講 師 前田 美和子 氏 ※前年度参加者人数合計：15人(2回実施)
7月21日(水・祝)	◆レッツプレイ ・運動タイム(ふれあいセンター2階 会議室) 講 師 新納 真史 氏 参加者 16人
9月4日(土)①	・バランスボール教室①②(ふれあいセンター2階会議室)
10月2日(土)②	講 師 山下 いずみ 氏 参加者 8人
1月22日(土)	・レクリエーション

2月12日(土)	講師 豊野少年自然の家 出前講座 ※中止 ・キッズヨガ 講師 藤本 喜美 氏 ※中止 ※前年度：中止
11月27日(土)	◆カルチャー教室 ・料理教室 講師 すこやか館 栄養士 ※中止 ・ハーバリウム教室 講師 磯田 美紀 氏 参加者 14人 ※前年度：中止
1月6日(木)	◆新春書初め大会 参加者 24人 講師：竹本 みどり 氏 ※前年度参加者：24人
夏休み期間中 8月18日(水) 19日(木)	◆出前講座(長洲町内小学校学童) ・夏休み期間中 六栄・腹赤・長洲・清里小学校の学童へ出向いて製作の指導を行う 内 容：輪っか玉入れゲーム 参加者 学童児童 76名 ※前年度参加者：73人
令和2年・3年度 中止 ※新型コロナウイルスの影響のため	◆児童館まつり 場 所：金魚と鯉の郷 広場 ◆人形劇鑑賞会(世代間交流事業) ・人形芝居劇団かすべる 「オオカミと7匹の子ヤギ」 ◆コンサート (世代間交流事業)

### Ⅲ 地域包括支援課

#### 1 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 地域住民の健康寿命延命への意識づけのために、フレイル予防についての周知や講話を行いました。(24箇所 276人)

(※フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態のこと) (単位：人)

期 日	行政区	人数	期 日	行政区	人数
6月18日	中町区	2	10月19日	中央公民館	12
6月29日	研修センター	17	10月19日	研修センター	18
7月2日	出町	3	10月19日	宮崎	8
9月29日	清源寺(婦人会)	16	10月20日	腹赤新町	9
10月5日	食生活改善推進委員	18	10月21日	下東	19
10月13日	東荒神	7	10月25日	赤崎	11
10月13日	高田区	3	10月25日	松原	13
10月14日	清源寺	18	10月25日	新山	8
10月15日	磯町	8	10月26日	駅通り	8
10月18日	腹赤	4	10月26日	建浜	11
10月18日	古城学習センター	13	11月9日	民生委員・児童委員	31
10月18日	鷺巣	9	2月4日	鷺巣(カラオケ)	10

※前年度講話：26箇所 289人

(2) 国保医療係との連携により、後期高齢者医療保険切替えの204人の方々に対して窓口で基本チェックリストの聞き取りを行い、げんきの館や元気あつぷ教室等予防事業の紹介を行いました。また、必要により電話連絡や自宅訪問を行い、個別対応となる啓発を行いました。

(3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の対象者（フレイル該当者等）となった方37人に対して自宅訪問や関係者間で情報共有を行い、介護予防啓発を行いました。

## 2 総合相談支援業務

### (1) 相談実績報告（相談回数）

相談関係	本年度	前年度	相談関係	本年度	前年度
本人	1,389回	1,246回	区長	45回	47回
家族	1,165回	789回	近隣	67回	81回
関係機関(行政・社協)	541回	350回	医療機関	503回	407回
ケアマネ・介護サービス事業	581回	417回	その他	93回	76回
民生委員	207回	142回	合計	4,591回	3,555回

### (2) 相談対象者との関係（相談回数）

相談方法	本年度	前年度	相談方法	本年度	前年度
来所	1,132回	901回	メール	2回	1回
電話	1,969回	1,626回	その他	74回	84回
訪問	899回	722回	合計	4,591回	3,555回
情報提供	515回	221回			

### (3) 相談内容（相談回数）

相談内容	本年度	前年度
介護に関すること	887回	739回
介護保険に関すること	1,110回	876回
地域支援事業に関すること	462回	321回
健康管理や医療保険に関すること	1,190回	941回
福祉サービスに関すること	104回	128回
日常生活に関すること	366回	368回
高齢者虐待に関すること	288回	65回
権利擁護・成年後見に関すること	154回	104回
消費者被害に関すること	22回	7回
長洲町見守りネットワークに関すること	8回	6回
合計	4,591回	3,555回

## 3 権利擁護業務

### (1) 相談対応

相談内容	高齢者虐待	権利擁護・成年後見	消費者被害
相談回数（回）	288	154	22
前年度	65	104	7

### (2) 高齢者虐待に関する対応・会議

高齢者虐待に関しては、本人及び関係者への聞き取りによる事実確認及び緊急性を判断する会議を実施して対応方針を決め、対応した事案が4件ありました。

(3) 研修会の開催

日 時：8月27日（金）午後6時30分から8時00分

テーマ：「高齢者虐待を防ぐために専門職が持つべき視点」（ZOOM開催）

講 師：熊本県社会福祉士会 社会福祉士 窪田 寛史 氏

参加者：長洲町介護サービス事業者連絡協議会会員・

行政・社協職員等 計42人

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、以下の支援を行ないました。

(1) ケアマネジャーの技術向上のため日常的個別支援

(2) 支援困難事例等への指導・助言など

受付件数：163件

支援内容

支援内容	延べ回数	前年度	支援内容	延べ回数	前年度
ケアマネジメント支援	115	81	包括内連携	53	53
主治医連携	19	1	社会資源の紹介	16	21
制度説明・確認	21	25	対人援助技術	5	3
個人の悩み事相談	3	2	研修・学習	0	0
その他	33	52	同行訪問	13	24

5 認知症総合支援事業

(1) 認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーターの養成を実施しました。

また、認知症サポーター養成講座に伴うキャラバンメイト意見交換会を10月に開催し、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策としてオンラインでの方法を協議しました。オンラインでの初めての試みとして、腹赤小学校、玉名南部会郵便局には認知症サポーター養成講座を開催しました。

(単位：人)

	期 日	対象者	参加人数
1	6月14日（月）	元気あっぷリーダー9期生	7
2	7月15日（木）	にじいろカフェ（認知症カフェ）	14
3	11月9日（火）	デイサービス導楽	5
4	11月11日（木）	六栄小学校	41
5	11月13日（土）	清源寺区	32
6	11月18日（木）	腹赤中学校	64
7	11月25日（木）	玉名南部会郵便局（オンライン）	38
8	11月30日（火）	元気あっぷリーダー10期生	9
9	12月21日（火）	腹赤小学校（オンライン）	33
10	3月5日（土）	平原区	21
合 計			264
前年度		養成回数8回 養成数133人	

(2) 認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター修了者で意欲的な方へ実施し、チームオレンジ（アクティブチーム）の2期生を養成し、認知症カフェや認知症の人に対する声掛け・対応模擬訓練にボランティア支援としてマッチングを行いました。

- ・開催日 4月15日(木)
- ・講師 小川 知成 氏(認知症介護指導者)
- ・参加者 8人(前年度22人)

(3) 認知症カフェの開催の支援

町内4事業所(月華苑、心の花、せいわながすの里、げんきの館)で開催されている認知症カフェと、チームオレンジとの情報交換会として4月に開催予定としていましたが、新型コロナウイルスが流行したため、急遽中止としました。チームオレンジメンバーには個別に各カフェの情報誌のポスティングと、各カフェ担当者にはチームオレンジメンバーの人材紹介を行いました。

(4) 認知症の人に対する声かけ・対応模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した対応・通報の訓練も合わせて実施することで、認知症の人やその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることができました。

期 日	内 容	人数
11月13日	認知症の人に対する声かけ対応模擬訓練 in 清源寺	32人
3月5日	認知症の人に対する声かけ対応模擬訓練 in 平原	34人

※前年度訓練箇所：2箇所 参加者数：44人

(5) チームオレンジ(アクティブチーム)活動実績

期 日	活動先	人数	ボランティア内容
9月16日	にじいろカフェ	1人	受付、傾聴、活動参加
11月11日	みらいカフェ	3人	受付、傾聴、活動参加
11月13日	認知症の人に対する声かけ対応模擬訓練 in 清源寺	5人	受付、寸劇、活動参加
3月5日	認知症の人に対する声かけ対応模擬訓練 in 平原	4人	受付、寸劇、活動参加
3月17日	にじいろカフェ	2人	受付、傾聴、活動参加

(6) 認知症初期集中支援チーム

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供の早期診断・早期対応を目的とした支援をしました。また、チーム員会議として、月1回、町と包括、チーム員で情報共有や支援方針の確認などを行いました。会議の内容や支援に関する相談などに関しては、認知症サポート医(淡河・黒田医院 黒田医師)とも連携をしました。

	新規相談数	訪問・対応回数
本年度	1件	34回
前年度	4件	25回

(7) 認知症家族の会「つどい」への参加

認知症の人とその家族の会主催の「つどい」長洲エリア開催時(6月・10月)に参加し、介護者家族やその支援者との情報共有や、包括として介護に関する情報提供などを行いました。2月は新型コロナウイルス感染拡大予防対策として中止となりました。

6 地域ケア会議の開催

(1) 自立支援型地域ケア会議の開催(定例開催)

町内の全ての介護支援専門員に毎回事例を提供いただき、事例の課題に対して、

専門職からの助言を受け、利用者の自立支援につながるケアプランやサービス事業所のプログラム提供を目指しました。

- ・開催日：毎月第3（水）
- ・開催数：年間11回開催（4月は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
- ・事例数：20事例

(2) 個別課題の地域ケア会議

困難事例等、個別の課題に対し、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しました。

- ・開催日：困難事例発生時に随時開催
- ・開催数：1回
- ・事例数：1事例

(3) 住宅改修等点検事業

要支援認定の方の住宅改修や福祉用具購入・貸与をケアプラン立案したケアマネジャーに対し、リハビリの専門職である理学療法士から、事前協議の時点において検討すべき視点や、疾患の将来予測等を基に助言をいただき、要支援認定者の適切な生活環境の支援と活動性向上・悪化予防に努めました。

検討事例数：21事例

7 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

(1) 研修会等

期 日	内 容
7月20日	長洲町第8期介護保険事業計画について（総会後に町介護保険係より説明）
11月	映画「ケアニンⅡ」

(2) 役員会

期 日	内 容
5月17日	第1回役員会 ZOOM 会議（総会について、民児協定例会情報交換会について 他）
7月14日	第2回役員会 ZOOM 会議（総会について 他）
7月20日	令和3年度長洲町介護サービス事業者連絡協議会総会 ZOOMにて開催
9月23日	第3回役員会 ZOOM 会議（民児協定例会について 他）
3月24日	令和4年度事業計画策定に向けた意見交換会（役員、委員会代表、事務局、行政）

8 指定介護予防事業

介護保険認定の要支援1・2を受けた高齢者に対して、循環型の介護予防に取り組むことができるよう自立支援型の介護予防サービス計画書の作成を行いました。

(1) ケアプラン作成件数（単位：件）

年度	包括	委託	合計
本年度	943	221	1,164
前年度	1,011	221	1,232
増減	△68	0	△68

(2) 委託先の居宅介護支援事業所

町内3事業所・町外3事業所 計6事業所

9 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用者へ目標志向型のケアプラン作成を行いました。

(ケアプラン作成件数)

年度	包括	委託	合計
本年度	1,112	81	1,193
前年度	1,072	60	1,132
増減	40	21	61

10 生活支援体制整備事業

(1) 介護予防リーダー養成事業

ア 元気あっぷリーダー養成講座

講師：株式会社ともいき Labo 代表取締役 北尾 昌平 氏（理学療法士）

(ア) 9期生養成講座 参加人数 6人

養成講座：4月12日(月)から6月29日(火)全8回

準備講座：7月5日(月)から7月16日(金)までの希望日全2回

(イ) 10期生養成講座 参加人数 9人

養成講座：10月12日(火)から12月7日(火)全8回

準備講座：12月8日(水)から12月21日(火)までの希望日全2回

※前年度養成数 7期生：5人 8期生：5人

イ 元気あっぷリーダーのフォローアップ研修

(単位：人)

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	6月25日(金)	7月実施予定の体力測定会について 意見交換会	51
第2回	9月24日(金)	元気あっぷ体操パワーアップバージョンの習得 リスク管理について 効果的な体操実施方法について	33
第3回	11月24日(水)	教室を実施している中で気になること 活動費の活用について 体操のやり方で聞きたいこと	49
第4回	1月26日(水)	新型コロナ蔓延防止期間により中止	0
第5回	3月17日(木)	「体操の基本的動作の確認」	52

ウ 元気あっぷ体操教室開催会場、回数及び参加者延べ人数・リーダー活動状況

(ア) 元気あっぷ体操教室開催会場：合計22会場（内、塩屋区が休止中）

校 区	会 場
長 洲	あおぞら荘（東荒神区）、磯の館、新山区集会所、長洲町中央公民館、 町民研修センター、出町区集会所、はっとり荘（下東区）、ふれあい松原
清 里	駅通り区生涯学習センター、建浜区公民館
腹 赤	上沖洲区公民館、清源寺区公民館、腹赤区公民館、腹赤新町区学習センター 平原区学習センター
六 栄	赤崎区公民館、古城区学習センター、塩屋区公民館（令和3年9月から休止 中）高田区公民館、永方公民館、宮崎区ふれあい公民館、鷺巣公民館

※新規立ち上げ会場：平原区学習センター 令和4年3月7日から  
有明先成荘（下本区）令和4年2月7日から

## (イ) 開催回数及び参加者延べ人数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	48	0	24	59	44	53	65	65	53	41	24	57
参加人数	388	0	169	406	310	368	478	475	435	335	209	482
年間合計	開催回数 533回		参加人数 4,055人									
前年度	開催回数 536回		参加人数 4,392人									

## (ウ) 元気あっぷリーダー数

本年度	元気あっぷリーダー登録者数 84人	元気あっぷリーダー活動者数 77人
前年度	元気あっぷリーダー登録者数 78人	元気あっぷリーダー活動者数 68人

## (2) 協議体の開催

地域ケア会議等において抽出された地域課題を解決する場として、町第一層協議体等を開催し、地域課題の解決に向けて取り組みました。

## ア 町第一層協議体の開催（定例開催）

- ・参加者：行政、社協、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター
- ・開催日：毎月第3（水）
- ・開催数：年間12回開催

## イ 移動販売車を活用した高齢者の低栄養改善への取り組みとLINEを使用した注文等によるICT技術の活用計画

高齢者の低栄養や過剰栄養の「二重負荷」解決に向け、元気あっぷ体操教室体力測定に併せて、保健センターと実態調査を行った結果を基に、高齢者の更なる健康増進のためには、栄養バランスを改善する取り組みが必要だと分かりました。

そのため、移動販売車を持つ地元密着型スーパーマーケットのユーマートクナガと町管理栄養士との連携の構築を図り、店頭及び移動販売車で販売される弁当の栄養改善に取り組みました。

また、栄養バランスを考えたおかずのみの商品について提案を行い、実際に「おかずセット」として販売が始まりました。

さらには、ICTを活用したオンライン注文の体制が取れるよう働きかけを行った結果、ユーマートクナガではLINEの商品注文システム「どこでも注文君」の活用を開始されました。

## (3) 長洲町元気あっぷ体操リーフレットの作成と配布

コロナ禍での生活不活発病の予防を図るため、自宅でもできる元気あっぷ体操を掲載したリーフレットを作成し、6月1日付で全戸配布しました。

## (4) 元気あっぷ体操ビデオ作成及びICTを活用しての周知計画

元気あっぷリーダーによる元気あっぷ体操プログラムビデオを作成し、長洲町役場のYouTubeチャンネルに掲載しました。また、各介護予防拠点施設でのICT機器の活用による視聴と元気あっぷ体操の実施を促すため、10月15日付で全行政区へ回覧板による周知を行いました。

## 11 一般高齢者予防事業

## (1) 一般高齢者への介護予防教室の開催

	開催延べ数	参加者延べ人数	利用者平均人数
本年度	190 教室	1,458 人	7.7 人
前年度	169 教室	1,133 人	6.7 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためげんきの館休館

- ・期間：4月27日から6月11日までは、教室を休止しました。

## (2) 新規開催教室

(単位：人)

期間	教室名	延べ参加者数	回数
4月1日	ホウ酸団子の作り方教室	16	1回
4月7日～8月4日	シニアのためのヨガ教室①	41	全8回
4月15日	シニアのためのダイエット教室	21	全2回
4月19日～10月18日	膝と腰のげんき教室①	87	全8回
4月12日	フットケア教室	10	1回
7月12日	珈琲のある暮らし教室	10	1回
8月6日	ヘッドマッサージ教室	20	1回
8月18日～12月15日	シニアのためのヨガ教室②	76	全8回
9月3日～10月15日	シニアのためのパソコン教室	32	全5回
11月1日～2月21日	膝と腰のげんき教室②	73	全8回

## (3) 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催(奇数月第3木曜日)

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数	ボランティア数
5月20日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止		
7月15日	認知症サポーター養成講座 講師：地域包括支援センター 井上	13	1
9月16日	読み聞かせ、唄、レクリエーション体操	27	1
11月18日	紙あそび教室講師による「壁掛け作り」	25	2
1月21日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止		
3月17日	講話「長洲町の歴史についての講話」 講師：長洲町文化財保護委員 隈部 壽明 氏	26	2

## 12 通所型サービスA事業

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施しました。

## (1) 通所型サービスA(対象者：要支援1・2及び基本チェックリスト該当者)

## ア 運動機能向上プログラムの導入

(ア) 地域の公民館活動との継続や連携を図るために、運動プログラムとして、「元気あっぷ体操」を中心とした内容としました。定期的な運動機能評価を実施し、評価・結果の分析を行い、個別プログラムの検討・実施につなぎました。

(イ) 利用者を地域活動につなげられるよう、体操の資料の掲示や配布を行い、自宅でも継続・習慣化できる健康体操の支援に努めました。

## イ 健康教室

(ア) 町保健センターと連携し、利用者の健康生活に向け、口腔ケアと栄養改善について職員が学び、学んだ内容を利用者向けに講話を行いました。

(イ) 衛生用品業者からの商品を活用して、看護職員が中心となり、尿失禁予防の講話を実施しました。

ウ 認知症予防プログラムの実施

認知症予防活動として、日々のプログラムに脳トレプリントやウォーキング、カードゲーム、パズル等を取り入れ、定期的な認知機能の評価を実施しました。

エ 個別プログラムの実施

(ア) 一般高齢者予防事業（介護予防教室）への参加：趣味活動の活性化や交流

(イ) 利用者の趣味・特技を活かせる場：菜園での野菜・花の育成

(ウ) リハビリ職の支援による、個別リハビリの実施：膝痛や腰痛への運動指導

オ セルフケア確認による健康意識の向上プログラムの実施

月間カレンダー（げんきカレンダー）での健康生活・運動の習慣化を支援しました。。

カ 地域との交流活動の実施

(ア) 長洲こどもの海保育園園児との交流：新型コロナウイルス感染予防のため中止。

(イ) 小物づくりなどの趣味活動：趣味を通して利用者間の交流ができました。

(ウ) 季節行事

・落ち葉で焼いも会：新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。

・敬老会：対象の方賞状と利用者全員へ手作りの記念品を贈呈しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためげんきの館休館期間の対応

・期間：4月27日から6月11日まで

・通所サービスの利用者に対しては、職員が一人ひとりの健康状態や生活状況の確認・体操指導に訪問し、継続的に生活の支援をいたしました。

・訪問時に体力測定（片足開眼立位）・HDS-Rを実施し、再開にむけてプログラムの検討、転倒リスク・認知症リスクがある方を職員で共有し、個別の対応を協議しました。

キ 年間利用状況

(単位：人)

区分	開所日数	実利用者	要支援1・2 認定者	基本チェックリスト 該当者	新規者	延利用者	一日 平均
4月	18日	63	29	34	2	220	12.2
5月	0日	0	0	0	0	0	0
6月	13日	60	30	30	1	153	11.7
7月	22日	62	28	34	1	269	12.2
8月	22日	64	27	37	3	255	11.5
9月	22日	64	29	35	1	277	12.5
10月	21日	66	28	38	3	285	13.5
11月	22日	68	31	37	2	297	13.5
12月	20日	68	29	39	2	266	13.3
1月	20日	68	28	40	0	251	12.5
2月	20日	66	29	37	2	247	12.3
3月	23日	67	29	38	3	294	12.7
年間	223日	716			20	2,814	12.6
前年度	256日	874			21	3,324	12.9

※前年度は休館中の利用者訪問も利用者実績に含めていたが、本年度は利用者訪問は実績には含めずに表しています。

- ・年間登録者人数：93人
- ・年間新規契約者：20人
- ・休館中（訪問）：5月（214回） 6月（97回）

(2) プラスあっぷ教室（専門職による短期集中6ヶ月プログラム）

フレイル状態にある高齢者に対し、早期に専門職が関わりながら予防プログラムを提供できる教室を実施。

ア 対象：65歳以上の要支援1・2認定者及び基本チェックリスト該当者

イ 期間：毎週（火）午後1時30分から3時30分で6か月間

ウ 定員：18人程度

エ 専門職：理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護職

オ 内容：①評価（新規・修了前）：運動器測定、栄養評価（栄養バランス、体組成計）、口腔評価（嚥下、舌の動き）

②集団体操：元気あっぷ体操

③個別プログラム：筋力アップ、バランスアップ、栄養指導、口腔体操

④健康の自己管理の促し：日々の健康チェックや活動の習慣化を支援

⑤修了後の支援：地域活動や一般介護予防教室への案内と参加のつなぎ

カ 評価会議：①評価会議参加者：理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、通所職員、生活支援コーディネーター、担当ケアマネジャー

②ファシリテーター：包括（司会と記録2人）

③開催時期（1利用者に対し、2回開催）

・新規利用時：目標の共有、評価結果の共有、提供するプログラムの共有等

・修了時：プログラム提供後の評価、修了後のつなぎ先の確認とつなぎ方への助言等

④評価内容：体力測定・長谷川式認知症簡易スケール・体組成・栄養評価・口腔評価・健康チェック数値と元気カレンダー活用状況等

キ サービス修了後の動向

・令和3年7月27日 第2期7人（11月開始生）

・令和3年9月28日 第3期2人（2月開始生）：休館2か月含む

・令和3年11月30日 第4期2人（4月開始生）：休館2か月含む

・令和3年12月28日 第5期3人（5月開始生）：休館2か月含む

・令和4年1月25日 第6期3人（8月開始生）

・令和4年2月22日 第7期2人（9月開始生）

・令和4年3月29日 第8期3人（10月開始生）

\*修了式実施 対象者：22人

## ク プラスあっぷ教室利用状況

(単位：人)

月	開所 日数	実利用者	(内 訳)		新規者	延利用者	一日 平均
			要支援 1・2認定 者	基本チェッ クリス 該当者			
4月	3日	15	1	14	0	33	11
5月	0日	0	0	0	1	0	0
6月	3日	17	1	16	3	41	13.6
7月	4日	17	1	16	1	51	12.7
8月	5日	11	1	10	3	46	9.2
9月	4日	16	1	15	3	48	12.0
10月	4日	17	1	16	7	55	13.7
11月	5日	23	1	22	2	97	19.4
12月	4日	21	1	20	5	69	17.2
1月	4日	20	1	19	3	75	18.7
2月	4日	19	0	19	4	64	16.0
3月	5日	22	0	22	4	86	17.2
年間	45日	198			36	665	14.7
前年度	25日	20			20	293	11.7

・年間登録者人数：50人・新規者人数36人

・休館中の自宅訪問：5月（50回）・6月（25回）実績に含めず。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためげんきの館休館期間の対応

・期間：4月27日から6月11日まで

・利用者に対して、職員が一人ひとりの健康状態や生活状況の確認・体操指導に訪問し、継続的に生活の支援をいたしました。

・訪問時に体力測定(片足開眼立位)・長谷川式認知症簡易スケールを実施し、再開にむけてプログラムの検討、転倒リスク・認知症リスクがある方を職員で共有し、個別の対応を協議しました。